

平成26事業年度

決算報告書

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

国立大学法人鹿児島大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人鹿児島大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,694	16,985	292	(注1)
施設整備費補助金	3,607	2,819	▲ 788	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	472	470	▲ 3	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	72	72	-	
自己収入	25,168	26,322	1,154	
授業料、入学金及び検定料収入	5,875	5,880	4	(注4)
附属病院収入	18,537	19,518	981	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	756	924	169	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,052	2,889	838	(注7)
引当金取崩	-	15	15	(注8)
長期借入金収入	1,321	1,040	▲ 281	(注9)
目的積立金取崩	94	238	145	(注10)
計	49,480	50,851	1,372	
支出				
業務費	40,385	42,124	1,738	
教育研究経費	22,095	21,857	▲ 238	(注11)
診療経費	18,290	20,266	1,976	(注12)
施設整備費	5,001	3,931	▲ 1,069	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	472	470	▲ 3	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,052	2,829	777	(注15)
長期借入金償還金	1,570	1,559	▲ 11	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	49,480	50,913	1,433	
収入－支出	-	▲ 61	▲ 61	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越金(124百万円)、特別運営費交付金の追加措置(168百万円)により、予算額に比して決算が292百万円多額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、産業動物飼育施設新営、総合研究棟改修(臨床系)、病棟・診療棟等の工期延長による繰越し等により、予算額に比して決算額が788百万円少額となっております。

(注3) 補助金等収入については、補助金の獲得に努めたものの、見込んでいた受入額に達しなかったため、予算額に比して決算額が3百万円少額となっております。

(注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料の増収、入学料及び検定料の減収により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっております。

(注5) 附属病院収入については、新入院患者数の増加、平均在院日数の短縮、入院・外来診療単価の上昇等により、予算額に比して決算額が981百万円多額となっております。

(注6) 雑収入については、自己収入の獲得に努め、財産貸付料収入等が増収したことにより、予算額に比して決算額が169百万円多額となっております。

(注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が838百万円多額となっております。

(注8) 引当金取崩については、予算段階では計上していなかった退職引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が15百万円多額となっております。

(注9) 長期借入金収入については、病棟・診療棟の工期延長等による繰越しにより、予算額に比して決算額が281百万円少額となっております。

(注10) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していなかった医療機器等の整備のため、予算額に比して決算額が145百万円多額となっております。

(注11) 教育研究経費については、業務達成基準を適用した事業の繰越し等により、予算額に比して決算額が238百万円少額となっております。

(注12) 診療経費については、(注5)に示した理由による見合の医療費等の増加及び診療体制強化に伴う経費の増加等により、予算額に比して決算額が1,976百万円多額となっております。

(注13) 施設整備費については、(注2)及び(注9)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,069百万円少額となっております。

(注14) 補助金等については、(注3)に示した理由により受入額が減額したため、予算額に比して決算額が3百万円少額となっております。

(注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により受入額が増加したこと等により、予算額に比して決算額が777百万円多額となっております。

(注16) 長期借入金償還金については、借入利率の見直し等により、予算額に比して決算額が11百万円少額となっております。